

発刊への熱意とご尽力に深く敬意を表します。
この「町内だより」を読ませていただくと、地域の歴史や出来事、人々の声を幅広く伝え、地域の暮らしに寄り添う身近な情報ツールであります。単に情報を伝えるだけでなく、町の著名人等を独自の視点で深掘りして紹介する「この人を訪ねて」など、新たな発見や出会いにつながる工夫を凝らし、温もりを感じさせる内容となっています。

近年、高齢化や人口減少、コミュニティ意識の希薄化等により、地域内での支え合いの基盤が弱まっている中で、「町内だより」が地域内のコミュニケーションのきっかけとなり、地域のひとと人の交流を促進する役割も果たしているように感じます。

今後とも、「町内だより」の発刊が続いていくことで、地域の情報共有が図られるとともに、地域のみならず交流の輪がさらに広がっていくことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



長 氏 「町内だより」が記念すべき
区 生 第500号の発行を迎えら
市 英 れたこと、心よりお祝い申し
島 田 上げます。昭和54年8月に
広 米 創刊されて以来、これまで
46年の長きにわたる編集・

祝「町内だより」創刊500号

広島市西区長 米田英生



★鯉幟（こいのぼり）端午の節句（五月五日）に男児の健やか成長・立身出生を願い掲げる。今ではあまり見られなくなっている。★米国大統領就任100日をすぎたが、「関税」で世界中がその一挙手一投足に翻弄（ほんろう）されている。振り上げた手を下せなくなり、上を向いてつばを吐くことにならねばいいのだが。★生活を支えるコメの流通が滞り、価格は下がらず、聞くところによると落札した全農JAがネックになっているらしい。ガソリン税も下げずケチな補助金でごまかそうとしている。参議院選に一波乱あるかも。★露/宇戦争、「休戦」駆け引き中。トランプさんの仲介如何にかかっていないと昨年の繰り返しになる。本紙が始まった年（1979・昭和54年）には日本一になったのだから。（写真：草津八幡宮境内にて）

「町内だより」が500号に・・・
草津東町内会 会長 倉田和峰

★1979年（昭和54年）、一代目故高田正則会長の呼びかけで、6人の有志で「町内だより」がスタートした。その後高田会長一人で編集するようになり、22年間239号までほぼ毎月発行された。100号までは鉄筆による力刷りだった。★「町内会」の活動が良くなり「古い町に新しい絆を、活動をよく知ってもらい、「コミュニティ」に通じ、皆さんの声を反映させることが先決」と広報紙作りを始めたいきさつを生前筆者は高田会長から聞いていた。★この年はカープが「江夏の21球」で近鉄を破り、日本一「ソニー」の「ウォークマン」が発売され、また千鳥大の「北国の春」や西城秀樹の「YMC A」がヒットした年だった。★2002年（平成14年）4月・240号から500号まで、筆者（倉田）が担当することになった。★242号からはより読んでもらいたく、裏面に「この人を訪ねて」のインタビュー記事を掲載したところみなさんに好評、今さらやめることもできず、イベントなど特集記事以外以外は毎月掲載し、先月号で242人になる。途中2回、CDにしてご希望の方にお渡ししている。★現在町民の方、公民館置などのおよそ1000部印刷。また草津公民館のホームページ、広島市の「こねつとこ」でも閲覧できる。★これからも、創刊時の趣意はもとより、町内会のモットーでもある「報・連・相」の伝達ツールとして続けていきたいと思っております。今後ともより一層愛読願っています。

新入生どきどき入学式

▼満開の桜の下、4月9日（日）庚午中学校（258名）、草津小学校（88名）の入学式が行われた。▼庚午中学校の寺川勇一校長から「①新しい出会いを大切に、②もう一人の自分を大切に、③勉強から逃げない」の3つの訓示があった。また草津小学校の久野哲治校長は「①笑顔で元気に挨拶をしよう、②みんなと仲良くしよう、③お話を静かに聞こう」の3つのお願いを話した。▼過去5年間の入学人数は、庚午中学校は横ばい昨年より12名増。一方草津小学校は昨年より12名減し、少子化の影響が年々減少している。♪ドキドキ♪

を元気づけよう草小新入生



寺川校長先生

草津東町内会 令和7年度定例総会

★2025年4月25日（金）19時から草津東集会所において、令和7年度の定例総会を開催しました。★前年度の会計決算報告案並びに同町議会計決算報告案が提示され、監査議決の後、また令和7年度事業予算案等が審議され、いずれも原案通り可決されました。★席上、町内会加入数の推移図が示された。2003/4では865世帯であったものが、2025/4現在587世帯の278世帯減（△32.1%）となっている。世相とはいえ、憂慮すべき問題である。（裏面アンケート欄参照）★令和6年度予算案並びに今年度の事業計画と役員名簿を別途回覧いたします。



左：草津東町内会令和7年度定例総会

一緒に歌いましょう！

新生「さわやか倶楽部」主催のソングイベント。お待ちしております
日時：令和7年5月21日（水）13時30分～15時30分
場所：草津東集会所ホール ・男性も大歓迎 ・締め切り5/14

お知らせ・・・去る4月27日（日）に行われた「西条寺旧住職退任・新住職就任」の記事は、本紙来月号にて掲載する予定です。

アンケート特集のこの人を訪ねては休みます

5月行事予定

- ◎9日（金）町常任委員会 中止
 - ◎11日（日）軽スポーツ祭（草津協）
 - ◎15日（木）おれんじカフェひまわり 草公10時
 - ◎21日（水）一緒に歌いましょう 13時30分東集会所
 - ◎25日（日）西区民スポーツ大会 サンブラザ他
 - ◎6月6日（金）町常任委員会
 - ◎6月7日（土）弁天さん祭り・神事（鷺森神社）
- 有価資源収集日：14（水）・28日（水）

▼満開の桜の下、4月6日（日）草津協主催のグラウンドゴルフ大会を草津球場をいっぱいに楽しくプレーをした。参加者70名
*優勝一男女ともに東町！ ○内はホールインワン数

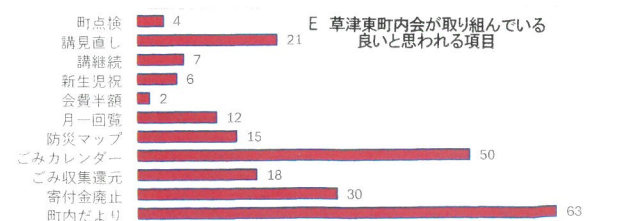
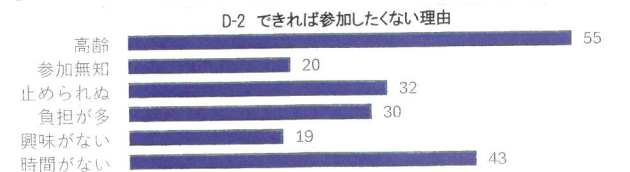
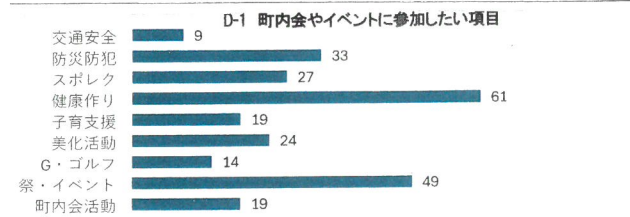
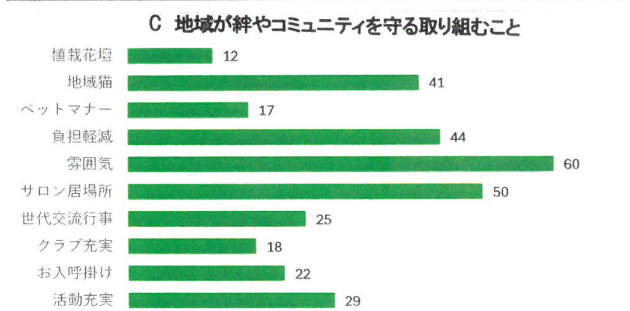
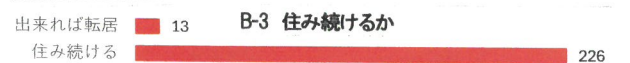
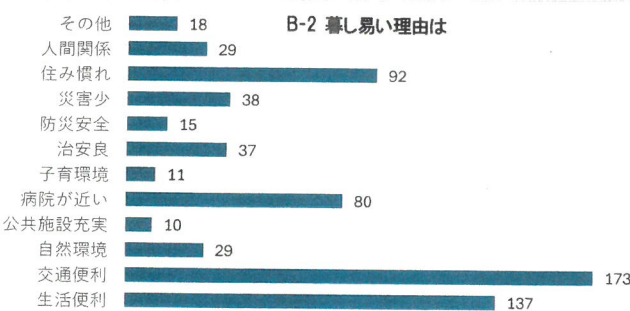
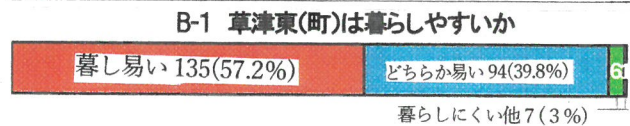
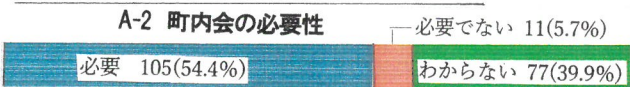
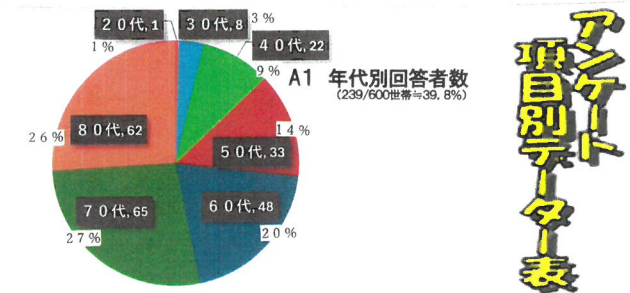
グラウンドゴルフ大会成績表 R7.4.6草津

男子	優勝	望月照彦（東町）	40	(25・15)	①
	準優勝	宮川忠良（東町）	41	(19・22)	
	第3位	小林義則（南町）	41	(23・18)	①
女子	優勝	和田八重子（東町）	44	(19・25)	①
	準優勝	網本エミ子（浜町）	45	(20・25)	
	第3位	蘭 征子（東町）	45	(23・22)	

咲き誇る桜下 草津球場中央で開会式



優勝左：望月さん 右：和田さん



草津東町内会・意識調査アンケート集約

★草津東町内会では、今年3～4月にかけて、町内意識調査アンケートを実施しました。前回は10数年前で、今回で2回目になる。当町内会のみならず、他の町内会でも、加入者が減り続け、お世話をする役の人にもこと欠き、休会や解散をするやもと聞いている。ここで町民の皆さんの貴重なご意見、意識調査アンケートを参考にし、これからの取り組みに役立てることにいたします。

★回答者数239名 3月末 599 加入世帯数の39.9%の約4割の方が回答された。この数で総意を判断するには難があるが、「傾向」としては参考になる。

★年齢別回答(表A1 回答者数239名) 70代の方が一番多く、次いで80代。60代以上が73.2%を占め、50代以下は26.8%だった。

★町内会加入の有無 回答者の228名の95.4%が町内会加入者。未加入者11名の4.6%。あける

★町内会が必要か(回答数193名) 「必要」105名(54.4%)。「わからない」77名(39.9%)。「必要でない」11名(5.7%)。「必要」が5割を切り、「わからない」と「必要でない」を合わせると88名(45.6%)で5割弱の方が否定的と思われる。

★草津地区の魅力・自慢(表B0 複数回答285) 神社仏閣、人柄、駅・町並、祭りが92.3%。

★暮らし易さ(表B1 回答239) 「易い・どちらか易い」が97.0%。

★暮らし易い理由(表B2 複数回答671) 圧倒的に「交通が便利」、「生活が便利」、「病院が近い」で58.1%の6割近くが便利で暮らし易いと回答。

★暮らしにくい理由(複数回答89) 店が近くにない(スーパーも)が一番不便(52.8%)。年を取るとなおさら。次いで町の行事・役回りが多い(22.5%)。

★この町住み続けるか(表B3 回答数239) 当分を含め226名(94.5%)のほとんどの回答者が「満足」を選んだ。

★地域の絆・コミュニティを守る取り組みは(表C 複数回答348) 「参加の雰囲気作り」、「サロンの設置」、「町内会活動の負担軽減」、「活動の充実を合わせて」52.6%を上げている。「なお地割対策」、「ペットのマナー普及」も16.6%必要と。

★町内会、イベント活動へ参加は(表D1 複数回答287) 「健康作り」が21.3%断トツで、「祭り・イベント」、「防災・防犯」が続く。残念ながら町内会活動へは6.6%。

★参加したくないできない理由(表D2 複数回答223) 「高齢」が圧倒的に多く24.7%の4人に一人が回答。「時間がない」19.2%、「一度参加したらやめられない」、「負担が大きい」と続く。

★草津東町内会が行っている事項について(表E 複数回答181) 「町内だより」29.3%、「ごみミニカレンダー」27.6%の二つが共に多く好評。「寄付金廃止」と「ごみ収集と還元」も評価されている。

◆ アンケートの寄せられたコメント(順不同) ◆

- ・町内会に参加して町の様子がよくわかる。・災害や万一の時にはお世話になる。
- ・ミニごみカレンダーは重宝してます。・町内会を辞めた途端、ごみカレンダーが来なくなった。・スーパーや店が無く、年寄りには不便。・町内会が何をやっているかよくわからない。・カラスにエサをやっている人がいる。・ペットの躰が悪い。
- ・町内だよりは楽しいし、待ち遠しい。・クリニックが多いのいい。・寄付金の集金廃止はありがたい。・広電やバスが便利。・神社仏閣があり、古い文化が良い。
- ・隣同士つきあいも少なく、町内会も必要ないのでは。・年取ると役員やお世話もできず申し訳ない。・町内会費が高すぎる。・なり手がなければ、役員に給与を出せば。・組長の順番、同じ人が何度もしてる。・隣同士が助け合う町内会は必要。
- ・家族葬が増えている、講はやめてもいいのでは。(その他沢山いただいています)。

2003年から2025年の22年間に加入世帯278が減少している

